
日本カリキュラム学会

第12回 研究集会のお知らせ

代表理事: 松下 佳代
研究委員会委員長: 上地 完治

テーマ

カリキュラム研究の観点から「協働的な学び」を考える

趣旨

学校教育において、子どもたちが共に学ぶことは、教師が子どもたちに指導を提供することと同様に、あるいは時にそれ以上に大きな意義を持っている。折しも中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)」(2021年1月26日)では、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が目指されている。

本研究集会では、最近、「協働的な学び」に関連する研究成果を刊行した若手研究者にご報告いただき、参加者とともに議論を深める。米国の理論的・実践的研究の蓄積に学ぶことで、今後のカリキュラム研究と教育実践への示唆を得ることを目指したい。

日時: 2022年3月6日(日)13:30-16:15

※13:20頃から入室可。終了後、15分間の交流タイムを予定。

場所: オンライン (Zoom ミーティング)

①福嶋祐貴会員(京都教育大学 連合教職実践研究科 講師)

主著:『米国における協働的な学習の理論的・実践的系譜』東信堂、2021年

②宮野尚会員(日本学術振興会 特別研究員(PD))

主著:『ウイネトカ・プランにおける教職大学院の成立過程』風間書房、2021年

コーディネーター・司会

上地完治(琉球大学)、西岡加名恵(京都大学)

参加費 無料(学会員でない方にもご参加いただけます)

参加申込について

参加希望者は、[こちらの URL](#) から申込を行って下さい。締切: 2022年3月5日(土)23時59分
申込者には登録メールアドレス宛に自動的に接続情報が送付されます。届かない場合は、「迷惑メール」のフォルダに入っていないか、ご確認ください。接続情報が記載されたメールを紛失した場合は、再度お申し込みください。